

バリアフリー教室 in 水戸市立稲荷第二小学校

茨城運輸支局では、10月30日（水）に水戸市立稲荷第二小学校においてバリアフリー教室を開催しました。当日は、ノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助を体験し、障がいのある方や高齢者がバスを乗り降りする時にどんなことに困るのか、そして介助する側の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和元年10月30日（水）10：25～12：00
- 場 所：六地藏寺 第4駐車場
- 参加者：4年生 41名
- 主 催：茨城運輸支局 / 水戸市
- 協 力：（公社）茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏 [講師]
/ （一社）茨城県バス協会 / 茨城交通（株）

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表（体験してわかったこと、
難しかったこと、良かったこと）
- 質疑応答
- まとめ
- アンケート配布



参加者の感想

- ・車いすでバスから降りるときに、後ろ向きなので少しこわかったです。
- ・バスに乗っているとき車いすの人がきたら、車いす体験のように手伝ってあげたいです。
- ・高れい者の方は、うでや足がおもうように動かさなくてすごい大変だと思いました。
- ・バスが車いすのお客さんのために工夫されていてすごいと思いました。手伝うと、良い気持ちになるので車いすのお客さんがいたら手伝うようにしたいです。
- ・車いすの人がどうやったら楽に進めるのか考えるのがとても難しかったです。
- ・バリアフリー教室で高れい者や車いすの人の大変さがわかりました。バスでこまっている人を見かけたら「お手伝いしますか」と声をかけたいです。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表